

2025 年 3 月 29 ～ 30 日にわたり「ふじかん W 企画ワークショップ」が開催されました。

「ふじかん」は「藤田医科大学看図アプローチ研究会」の略称です。代表は織田千賀子先生，事務局長は朝居朋子先生です。

■1 日目 (29 日) 企画「看図アプローチで『ととのう』学びの雰囲気を」

■2 日目 (30 日) 企画「看図アプローチで学ぶ！協同学習の体験的理解」

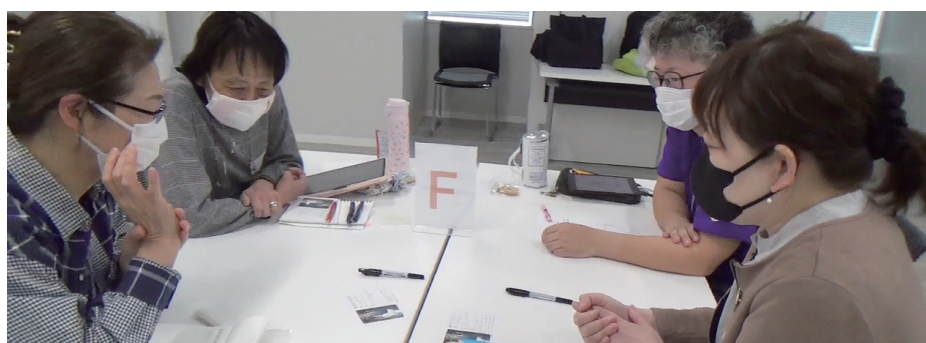
この企画に地元愛知・岐阜はもとより北海道・千葉・東京・和歌山・広島・山口の皆さんが参加されました。

29 日は全国看図アプローチ研究会会長鹿内信善先生が中心となりワークショップが行われました。アイスブレイクには、研究会専属アートスタッフ石田ゆき制作の新作「きゅうちゃん」イラストが活用されました。また今回のふじかんでは「新作ビジュアルテキストを」とのリクエストがあり、「きゅうちゃん・のんちゃん」「焼き鮭定食」「3組の手」等，多様な読み解きを誘うビジュアルテキストが多数用意されました。

参加者は事前にテキストとして『見方・考え方を育てる授業デザイン』（電子書籍，トリアーデ発売）を購読し，看図アプローチの基本的な理論を理解した上で臨まれました。ワークショップでは「なぜ？」発問に頼らない発問の仕方について考察する場面がたくさんありました。教師はつい「なぜ？」と問いたくなります。しかし「なぜ？」を連発されることによって学習者は「主体的学び」からどんどん遠ざかっていきます。「なぜ？」と問わなくても“なぜ”を考えてしまう」「学習者から自然に“なぜなら”が出てくる」。そんな発問のつくり方を，実際に体験しながら学んでいきました。



25 名が参加しました



アイスブレイクの様子



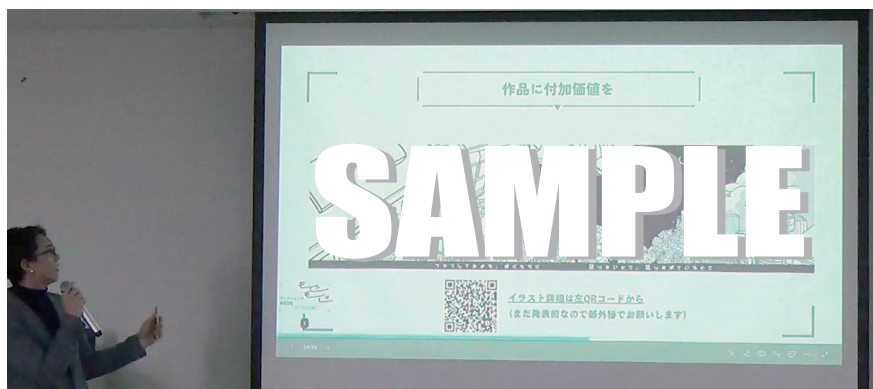
新作きゅうちゃんイラスト

今回のワークショップには名城大学から学生さん2名・職員さん1名も参加されました。学生さんたち（当日参加できなかった1名を含む）は外部企業様との合同企画で独自に絵図を制作。看図アプローチの手法を取り入れ、社会を巻き込んだ壮大なプロジェクトに挑戦しています。その実践の報告もなされました。

午後のプログラムは「実践の書籍化に向けて皆が著者になるための出版会議」と題して進行していきました。今回の研修会に参加された先生方の看図アプローチ実践をまとめ、1冊の本にしようという提案がなされました。名城大学の皆さんの取り組みは出版企画を進めていく上での大きなヒントとなりました。学生さん2名のプレゼンに、会場からは大きな拍手がおくられました。プレゼン終了直後だけではなく翌日までも、ワークショップに参加した先生方の間で繰り返し話題となり、感心の声が絶えませんでした。看図アプローチを「未来を守る力」にした有意義な社会貢献活動に取り組んでいる、名城大学学生前田クリスチャン瑞貴さん・鷺見（すみ）章伍さん・青山恭子さん、ならびにその活動をサポートしていただいている名城大学社会連携センター職員白川陽一さんに感謝申し上げます。



大好評だった名城大学学生さんによるプレゼン



青山恭子さん制作ビジュアルテキスト
(提携企業様とのお約束により5月17日以降より公開可)

30日は藤田医科大学の織田千賀子先生が中心となって協同学習に関するワークショップが行われました。協同学習の理念や手法について、看図アプローチを活用した学びが展開されました。協同学習を体系的に理解し且つ看図アプローチの良さを体験できる素晴らしいワークショップになりました。また、同じく藤田医科大学の朝居朋子先生による「日本国憲法」の模擬授業も行われました。法律に関する授業に対して、堅苦しさ・難しさ・学ぶことへのハードルを抱く人は少なくありません。しかし朝居先生はそれを感じさせず、テンポよく、且つ心地良い思考を促す授業をされました。鹿内先生はコメントで「看図アプローチでなくても良い授業は展開できる。また、朝居先生が実践している良い授業には看図アプローチと重なる効果的な理論が隠れている。」ということを整理し、朝居先生の授業を高く評価しました。朝居先生の授業は、看図アプローチを取り入れた授業をつくっていく上での貴重なヒントを提供してくれました。模擬授業に参加した私（石田）も、家族の概念や、看護師としてLGBTQの方とどう向き合っていくのか、また人としてどう向き合っていくのかを深く考える機会となりました。

最後になりますが、改めまして、年度末という慌ただしい時期に全国各地からお越しくださいました参加者の皆様に深く感謝申し上げます。いつもながらに「おもてなしのこころ」溢れる研究会にさせていただきました「ふじかん」の皆様にも御礼申し上げます。またぜひ一緒に看図アプローチについて語り合いましょう！

文責 全国看図アプローチ研究会専属アートスタッフ・事務局長 石田ゆき

